

平成30年度 第11回美郷町教育委員会議事録

日 時 平成31年2月12日（火）
13時30分～14時00分
場 所 美郷町役場3階入札室

<出席者> 田邊教育長、芦矢委員、西原委員、大草委員、難波委員
漆谷教育課長

<議 題> 1、平成31年度教職員定期人事異動の内申の承認について【承認】
2、中学校部活動ガイドラインについて
※美郷町のガイドラインを浜田市、松江市を参考に作成中。
同様の内容で試行的に取り組んでみる。

<報告事項> 1、島根県学力調査の活用について

○教育課長 それでは、第11回美郷町教育委員会をはじめさせていただきます。はじめに教育長からお願いします。

○教育長 今日はありがとうございます。この後の総合教育会議もよろしく
お願いします。今日は教職員の人事異動の内申の承認をしたいと思いますので、
よろしくお願ひいたします。今月から来月にかけて、いろいろと行事が多いと思
いますが、ご協力をよろしくお願ひいたします。それでは会議録署名委員さん
は、芦矢委員さんと西原委員さんでよろしくお願ひいたします。会期は今日1
日でよろしくお願ひいたします。

○委員一同 はい。

○教育長 会議録は今日お配りしたのですね。

○教育課長 はい、申し訳ありません。

○教育長 では、また目を通していただきますようお願いいたします。

○教育長 ありがとうございます。

では、議事に入ります前に私の諸報告ですが、上の方はご覧いただき
たいと思います。これから年度末にかけていろいろ行事がありますが、中
学生議会が町長さんの関係で2月21日に変更になっています。以下は書
いてございます。

4月9日には入学式で、教育委員の皆様にはいろいろお出かけい

ただくことが多いですが、よろしくお願ひいたします。

次に、今現在の児童生徒数です。今のところ昨年度の当初より9名多い364名です。教職員の数はまだ固まっていますので、また来月の教育委員会でお出ししたいと思っています。

その後、高校進学先一覧をつけています。松江高専の2人と石見智翠館高校は推薦で決まっています。あと、ここに書いてあるとおりです。中央高校に11名で、飯南高校と大田高校に7名ずつ。合計でもこの3校が多いです。石見養護が1名と掛谷分校が1名です。ここも特別支援に近いコースがあります。

そのあとに前回の教育委員会の後、3回ほど浜田管内の教育長会がありまして、人事のことが出ておりますので、要点だけお話しします。そこにメモで書いておりますように、松江出雲の管内から校長教頭は合計17名、東部から来ていただくようです。相変わらず東部から多いです。それから、今まで栄養教諭は人事異動ルールがほとんどありませんでしたが、来年の4月からルールができます。教員並みとはいきませんが、近いものが出てくるのではないかと聞いております。

特別支援学級の新設ですが、小学校は減ってくる傾向で、中学校は横ばいです。

次の働き方改革のところで、65時間から原則45時間を目標にすると。これはあくまでも2021年の話ですが、段階的に55時間、次に45時間と目標の時間を減らしていくということです。このようにいけばいいですが。春先はどうしても増えてきて、70時間80時間になります。今は多くて50時間から60時間くらいです。

次に人事異動で、最初に転居等内示の資料がついていますが、これは予定どおりです。通知方法も例年どおり細かく書かれています。人事異動の内示は後の議事のところでお話しさせていただきます。私からは以上です。何かご質問がございましたら、よろしいでしょうか。

○委員一同 はい。

○教育長 では、議事に入らせていただきます。異動の内示、小学校と中学校、2枚付いていますが、内申で今日議決をいただきたいものです。これは大変わかりにくいので、次に横向きの資料を付けています。先ほどの内申の資料は正職員のみですが、これには期付けの講師さんや産休代替の講師さんも載せています。今日の内示はあくまでも正教員のみです。

順に説明しますと、邑智中学校藤井教頭先生が校長昇任で大田西

中学校の校長先生で出られます。市山先生は教頭試験に通られて、羽須美中学校の教頭先生に転任昇任です。芦田先生は大田三中の特別支援学級に出られます。期付講師の奥村先生、井戸先生は講師としてそれぞれ大田二中、大田一中に出られます。代わりに正教員2名をいただいております。それから、事務職員の山口さんが志学中に転任です。代わりに浜田一中から山本剛先生が教頭に昇任で、荒田慶治さん、志学中で以前邑智中におられたことがあります。その下で竹下祥子さん、宍道中からです。おそらく芦田先生の後をやっていたかとは思いますが、

英語で大田一中から堀あかねさん。2校目です。新規採用職員で吉原大貴さん。理科ですが高知県で1年間正教員をされていた方で、初任研はありません。

それから事務職ですが、川本中で期付の主事をしておられる森川真衣さんが新規採用ということです。そこに授業改善加配と書いてありますが、プロジェクト事業を3年間、邑智中学校が指定を受けることになりまして、その担当をする先生が講師で3年間つくことになりました。国語の先生ですが、佐々木真智子さんに来ていただきます。技術の上田先生はご家庭の都合でおやめになるそうです。今代わりを探してもらっています。

次に大和中ですが、阿川校長先生には大和中2年、邑智小に4年教頭先生で6年間お世話になりました。が、もともと小学校籍の方ですので、地元の三刀屋小学校に帰っていただきます。同時異動になるのですが、教頭先生は来られて1年ですが、奥様のご病気で近くに帰りたいということで、大社中学校に教頭でお帰りになることになりました。栄養教諭の片岡先生が産休に入られますので、現在弥栄の給食センターで1年務められた坂本真衣さんに来ていただきます。校長は地元の渡部律夫さん。羽須美中の教頭から校長に昇任です。教頭先生が古橋広行さん。北三瓶中から教頭に昇任で来ていただきます。

邑智小学校ですが、生越教頭先生が大田市の教育委員会に。校長試験は通っておられます。うちでは9年間お世話になりました。3年邑智小の教員で、そのあと4年教育委員会の指導主事、教頭先生が2年です。梅田先生が地元の瑞穂小です。事務の石川さんが事務主幹として、原井小学校付で浜田教育事務所に。期付講師の新田峻平さんは今度は補充講師でそのままです。山下先生もそのまま補充講師です。町単の支援員の片岡先生がやめられますので、代わりに佐々木佐保さん。入って来られる教頭先生は杉原孝尚さん、内中原小学校から転任昇任で来られます。教諭の寺本颯さん、美郷町出身です。特別支援が専門です。事務職ですが現在高山小で主事をしておられる大草さんに来ていただきます。

大和小ですが、佐々木先生には6年間お世話になりましたが、地元の川本小に帰られます。補充講師の和田紗也加さんは新規採用で久手小に出られます。朝日山侑平さんはそのまま引き続き講師でお願いしています。新規採用で片岡なぎささん。初任研がある新規採用です。現在浜田の松原小の講師です。それから石倉先生が産休明けて復帰されます。特別支援学級が新設されますので、美郷町出身の柳川直子さん、現在瑞穂小の通級指導教室の先生をしておられます。ベテランの先生です。以上が異動です。

これで校長先生が4人とも地元の方になります。

○難波委員 技術の先生がなかなかないのでしょうか。

○教育長 たぶん大丈夫だと思います。資料は取扱注意としております。転居等内示が3月1日、一般内示が3月14日、記者発表が3月20日、3月21日に新聞掲載になります。よろしいでしょうか。

○委員一同 はい。

○教育長 次は中学校の部活動のガイドラインについてです。これは浜田市のガイドラインですが、新聞等でご存知だと思いますが、スポーツ庁がガイドラインを出しております。それよりも緩いのがこの浜田市と松江市です。

週の平日1日と土日のどちらか1日休養しましょうというのが、スポーツ庁が出したものです。浜田市と松江市は文言は違いますが、中身は同じで、毎週休むところを、月2回以上休めばよいということにしています。平日は週1日以上、土日は月2日以上休む。文科省は毎週、土日のどちらかを休みなさいと言っていますが、土日の休みを半分でいいようにしています。とりあえずこれでやってみようということですが、松江市はもうこれで決定しています。浜田市は案だそうです。

浜田市の案は浜田市内の中学校の校長会で作られたものです。いきなり休みが多くなるとやれん、これでは勝てなくなるということです。スポーツ庁のガイドラインを一番下につけています。大田市や江津市もスポーツ庁のままでは難しいと言っているようです。浜田管内の三市三町は浜田市の案でいこうということになりました。ただし1年間の試行です。

今日了解をいただければ、これをもとに町のガイドラインを作りたいと思います。これも働き方改革の一環です。松江市はスポーツ庁が出すとすぐに、県よりも早く出されました。先に出されるので他が苦しくなります。いかがでしょうか。とりあえず1年間はこれ

でやらせていただいて。国が言うようには急には無理だと思います。

○芦矢委員　　これは中学校の話ですよ。美郷町は2校ですから、先生方の意見もそんなに多くはないかもしれませんが。

○教育長　　邑智中は今強いので、郡大会、県大会まではかなりやります。大会が終わった後にしっかり休養日を取るといった方法しかありません。毎週休むというわけにはならないでしょう。時間も決められています。

○芦矢委員　　ガイドラインは国が作りますね。県は県で、市町村は市町村でつくりますが、国に準じて最終的に町で作らないといけないわけですね。

○教育長　　はい。松江市は県が出す前に出してきました。県から出されたのはついこの前です。県のガイドラインは国と同じです。これから各学校も作らなくてはなりません。

○芦矢委員　　高校はどうなのですか。

○教育長　　高校もです。

○難波委員　　国のおりしなかったからといって何かあるわけではないでしょう。

○教育長　　国はこうするので、近づけてくれと言っています。

○難波委員　　強制的ではないのですね。

○教育長　　全国大会に出るような学校は、この通りはできないと思います。

○芦矢委員　　建前はこう、といった感じで、実質骨抜きになってしまいます。働き方改革の一環として部活動を見直さないと、ということで手を付けるのだけど・・・総論は賛成、各論はいろいろありますよといった感じですね。永遠の課題です。

○教育長　　それでは、浜田市と松江市の案でいくということによろしいでしょうか。

○委員一同　　はい。

○教育長 ありがとうございます。最後に学力調査の報告を。以前の島根県の学力調査が大変よくありませんでした。上に南口先生の分析と各学校で作ってもらいました改善案を付けております。取組シートがありますが、職員間でもこの結果を反省して生かしてほしいということが書いてあります。結果が表にしてありますが、オレンジ色が良くないところです。今回は邑智と大和が逆転しています。人数が少ないですが、0点の子が何人かいたということです。今から詳しい分析がされるところです。

次に県の学力調査の4年前からの平均を書いております。またご覧いただきたいと思います。最後に浜田管内の三市三町の結果が出ています。昨年の全国学力調査は管内でうちがいい方です。今回は南口先生に力を入れてもらって、学校で学力向上につなげるように取り組んでもらいたいと思います。以上です。何かございますか。

○西原委員 大田市で働き方改革のモデルとして取り組んでおられるとか聞いていますが。

○教育長 はい。これからその発表会などもされるようです。

○西原委員 それで何か変化があって、因果関係が出てきたりとかするといいたのですが。

○教育長 まだ、これからだと思います。またお知らせします。ありがとうございました。